

第2章 都市^まづくり^ちの現況・課題

白河市の特徴や都市づくりの課題、将来の予想人口について整理します。

第2章 ^{まち}都市づくりの現況・課題

1. 白河市の特徴

本市は、自然・歴史・文化が豊かにあり、人々がそれを受け継ぎ、年月を積み重ねることによって、現在の姿が形成されてきました。

(1) 白河市の立地について

本市は、福島県の中通りの南部に位置しています。古くから白河関がみちのくの玄関口としての役割を果たしており、松尾芭蕉をはじめたくさんの人々がこの地を訪れ、様々な人やものが交流する要衝^{ようしゅう}の地として発展してきました。

近年では、より高速で移動できる東北自動車道や東北新幹線が整備され、首都圏に隣接することから、様々な企業活動が盛んです。また、国道 289 号甲子道路が開通し、南会津地方との地域間交流が深まることも期待されています。

(2) 豊かな自然と調和した都市

本市は、全体が緑に包まれており、阿武隈川、社川、隈戸川などのたくさんの川が流れ、市街地のまわりには、里山に囲まれたのどかな田園風景が広がっています。城下町として発展してきた市街地にも谷津田川や丘陵地があり、自然と人々の生活が上手に調和した都市が形成されています。

(3) 400年の城下町の歴史

本市の都市構造の骨格は、江戸時代の初めに行われた町割りが基本となっています。効率的に配置された、武家屋敷（住宅地）、町屋（商工業）、寺院や、カギ型の道が多く残されており、城下町らしい風情を感じさせています。

(4) 美しく豊かな景観

本市を代表する南湖公園は、那須連峰などを借景とする雄大な自然空間を取り入れた市民共楽の公園として造られました。

また、本市からは、那須連峰の勇壮な山並みだけでなく、小峰城跡を中心としたまちなかの寺社仏閣・歴史的建造物・蔵などの古い街並み、阿武隈川、谷津田川沿いの風景など数多くの美しい景観があります。

(5) 地域で育んできたコミュニティ・文化

本市には、だるま市、提灯まつりなど古くから続いた地域を代表する祭りや市があり、昔ながらの共同生活から、良質なコミュニティが引き継がれてきました。しかしながら、近年では核家族化等の影響や、利便性重視の生活スタイルへの変化により、地域の基礎的な交流であるコミュニティのつながりも弱くなってきています。

2. 都市づくりの課題

(1) ふるさとを意識した都市づくり

本市の豊かな自然・歴史・文化は、それを継承する人々によって守られてきましたが、近年ではその豊かさを実感する人が少なくなっています。ふるさとを知らなければ、ふるさとを良くしようという考えも浮かびません。市民の誰もが白河を知り、ふるさとに愛着を持てるよう、交流できる場や機会を増やし、都市づくりを進めていく必要があります。

(2) 自然と共生した都市づくり

本市は、市街地の中に大小の川や里山があり、豊かな自然と調和した都市です。

近年、地球規模での環境悪化が問題とされています。そのようななか、昔ながらの生活スタイルが環境にやさしい生活として注目されています。昔ながらの生活にあるエコロジカルなノウハウや考え方を知るとともに、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で、自分たちができることを考え、環境問題に取り組んでいかなければなりません。自然と共生した都市づくりを身近なものとして、豊かな自然と調和した都市を次の世代に引き継いでいく必要があります。

また、市街地と田園それぞれの美しさや良さを維持していくため、地域に応じた適切な土地利用を誘導していく必要があります。

(3) 白河らしい都市づくり

本市の中心市街地は、約400年前の町割りから始まり、公共交通機関や環状道路を始めとした都市基盤の整備が徐々に行われ、県南地方の商業・業務の中心地としてにぎわってきました。しかしながら、近年では白河の個性の象徴であった中心市街地の魅力が失われつつあります。400年の歴史と文化を再認識して、中心市街地の魅力の再生を図るとともに、すでに整備された400年来の既存ストックを活かした都市づくりを進めていく必要があります。

また、古くから東北の要衝の地と位置付けられた地の利を活かしながら、近隣市町村や都市間との交流を深め、地方都市としての新たな都市活動を創造していく必要があります。

(4) 美しい白河の景観づくり

景観とは、その地域の印象や雰囲気などを含めた地域の個性を表すものといえます。

都市を取り巻く美しい自然景観は、そこに住む人々の個性を育みます。そして、都市の景観には、人々の様々な交流によって生み出された歴史や文化、市民の暮らしなどが反映されます。

本市には、那須連峰の裾野に広がる緑豊かな美しい景観があり、「南湖公園」、「小峰城跡」、「白河関跡」などの先人が守り築いてきたかけがえのない歴史的遺産が残されています。これらの後世に残すべき財産を活かしながら、地域の風土や文化を反映した魅力あふれる白河市の景観を育てていく必要があります。

(5) 人を大切に^{まち}した都市づくり

本市の人口は、平成16年から減少しており、この傾向は今後も続くと予測されます。

また、お年寄りが増え、何世代かで一緒に生活していた家族が、それぞれに生活の場所を求めていく状況も進んでいきます。このような中で、誰もが元気に過ごし、安心して暮らしていくためには、市民同士の助け合いが欠かせません。そして、すべての人々が生活するうえで、人と人との交流にストレスを感じることを少なくなるような都市空間づくりを進めることが重要になります。そのためには、さまざまな場面を想定したユニバーサルデザイン^{※3}の都市づくりを進めていく必要があります。また、誰もが行きたいところへスムーズに移動できる環境づくりのため、使いやすい公共交通機関の充実や、歩いて楽しいと感じることのできる都市空間を増やしていく必要があります。

^{※3} ユニバーサルデザイン：「すべての人のためのデザイン」を意味し、文化や言語、年齢、障がいの有無などにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすること。

3. 将来見通し(フレーム)

本市の将来人口は、白河市第一次総合計画で示されている人口等の見通しを踏まえると、次のとおりと予測されます。

(1) 人口の予測

本市の将来人口は、平成40年には6万人程度になると予測されます。都市計画区域内人口、用途地域内人口、DID地区^{※1}人口についても減少傾向で推移するものと予測されます。

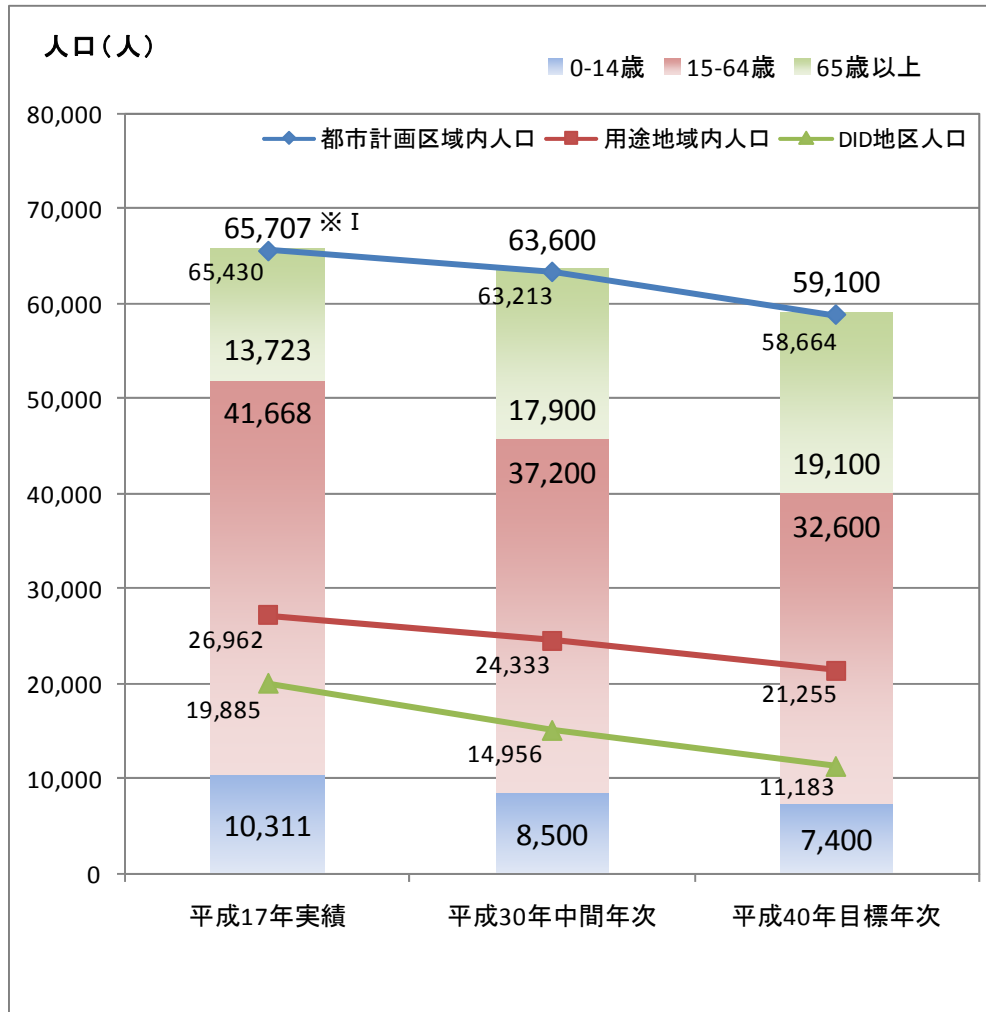


図 2-1 将来人口

※ I 平成17年人口(65,707人)には、年齢不詳5名を含む。

※ II 年齢層別人口は、市総合計画推計値より、平成30年、平成40年の値を直線補完して推計。

都市計画区域内人口、用途地域内人口、DID地区人口は、平成15年度県南都市計画区域都市計画基礎調査結果より、平成30年、平成40年の値を直線補完して推計。

資料：市総合計画人口推計データ、平成15年度県南都市計画区域都市計画基礎調査報告書

^{※4} DID地区：人口集中地区。国勢調査で、人口密度が4,000人/km²以上の区域が連続して人口が5,000人以上となる地区に設定される。都市的な地域の目安として使われる。

(2) 世帯数の予測

本市の世帯数は、平成 40 年には 2 万 6 千世帯程度になると予測されます。

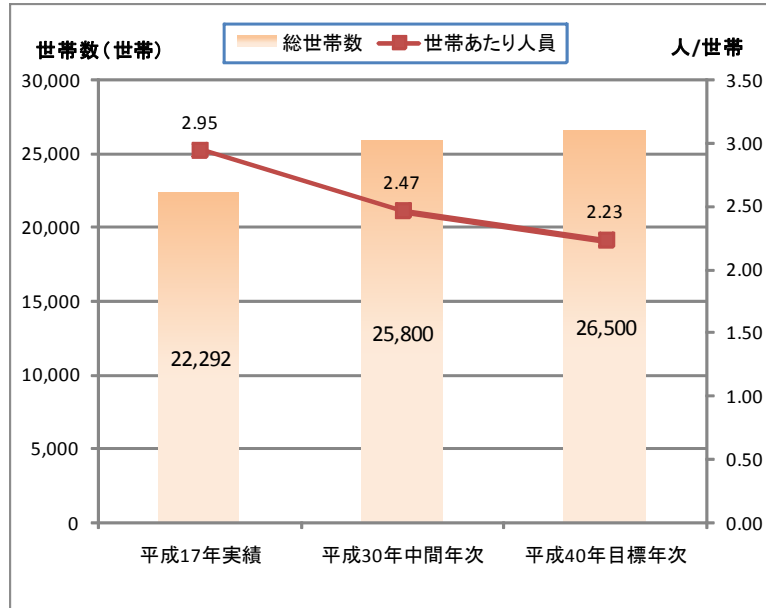


図 2-2 将来世帯数

※市総合計画推計値より、平成 30 年、平成 40 年の値を直線補完して推計。

資料：市総合計画人口推計データ

(3) 就業人口の予測

就業人口は、平成 40 年には 2 万 8 千人程度になると予測されます。

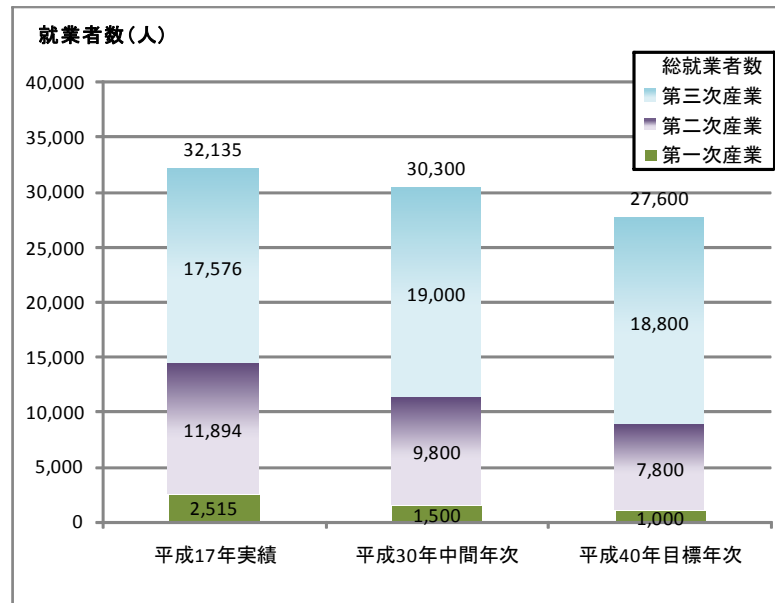


図 2-3 将来就業人口

※市総合計画推計値より、平成 30 年、平成 40 年の値を直線補完して推計。

資料：市総合計画人口推計データ

(4) 製造品出荷額の予測

製造品出荷額は、これまでの傾向が続く場合、今後、徐々に減少すると予測されます。

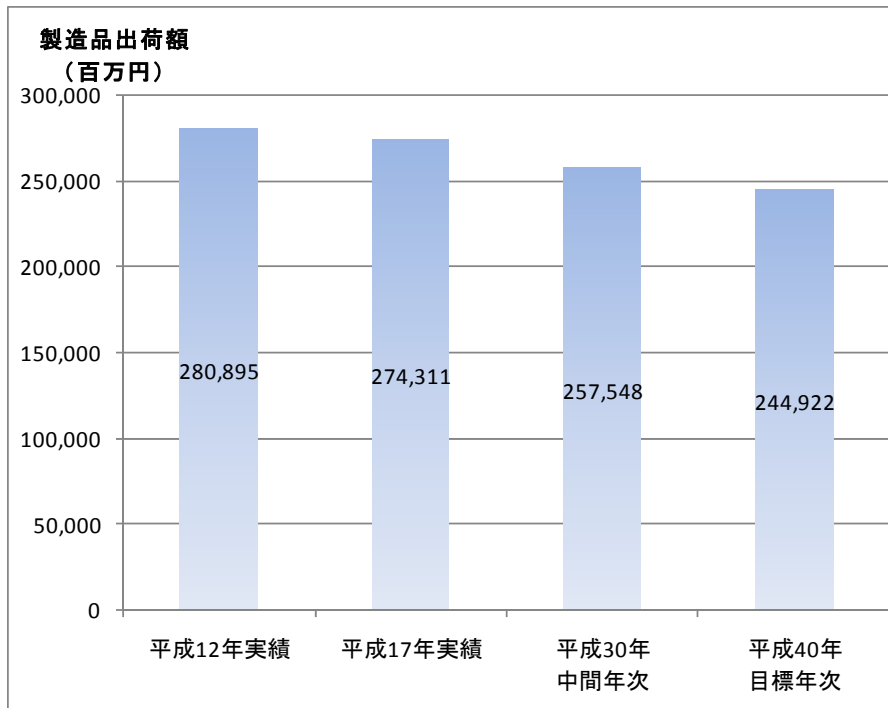


図 2-4 製造品出荷額

※平成 12 年および平成 17 年の製造業従業者数と製造品出荷額から、従業者生産性を求め、従業者数と従業者生産性の予測値（平成 15 年度県南都市計画区域都市計画基礎調査より）から、将来の製造品出荷額を推計。出荷額は国内企業物価指数を用い平成 17 年価格に補正。

資料：工業統計調査、平成 15 年度県南都市計画区域都市計画基礎調査報告書

(5) 年間商品販売額の予測

年間商品販売額についても、これまでの傾向が続く場合、今後、徐々に減少すると予測されます。

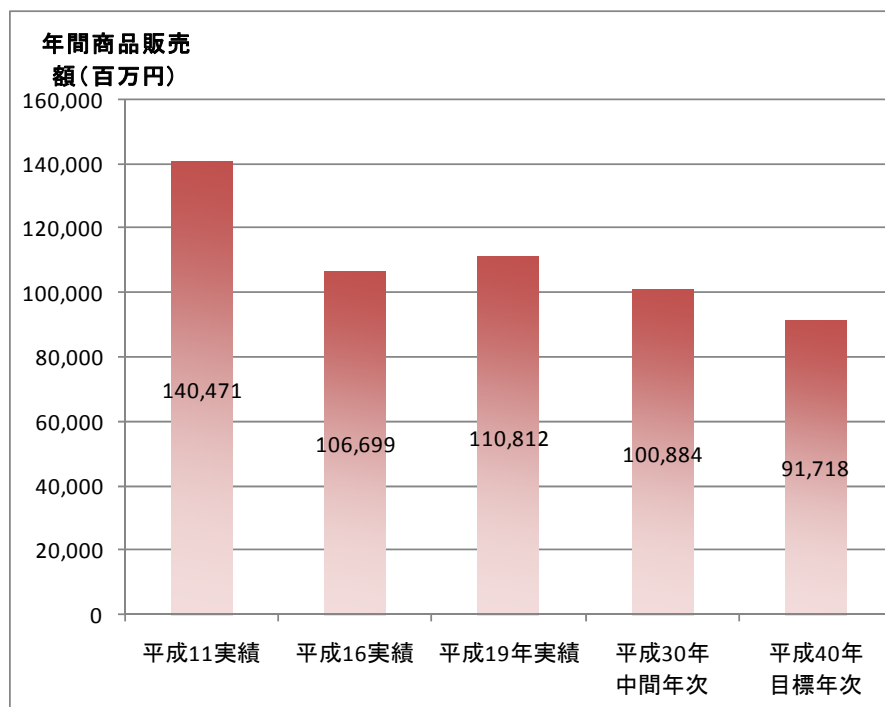


図 2-5 年間商品販売額

※平成 11 年、平成 16 年、平成 19 年の商業従業者数と年間商品販売額から、従業者生産性を求め、従業者数と従業者生産性の予測値（平成 15 年度県南都市計画区域都市計画基礎調査より）から、将来の年間商品販売額を推計。販売額は消費者物価指数を用い平成 17 年価格に補正。

資料：商業統計調査、平成 15 年度県南都市計画区域都市計画基礎調査報告書

(6) 将来の土地需要量の予測

本市全体の人口が減少すると見込まれる中、製造品出荷額、年間商品販売額についても減少傾向で推移すると予測されます。

この結果に基づき、将来の土地需要を予測すると、住居系市街地、工業系市街地、商業系市街地について新たな土地の需要が発生する可能性は少ないと考えられるため、将来における市街地拡大の必要性は少ないものと見込まれます。